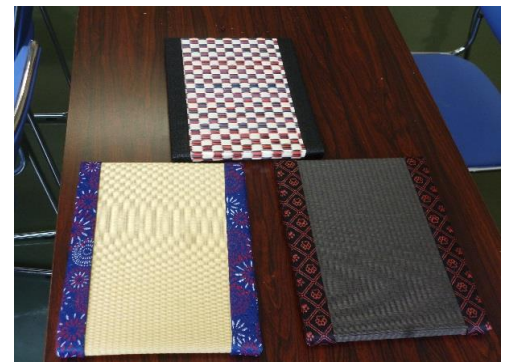


ふれあい

令和 元年8月 第398号
大代地区コミュニティ推進協議会
(広 報 部)
事務局：大代地区公民館
Tel 022-364-8442
fax 022-364-8453

掲載目次

- 子どもコマ大戦・・・・・・・・・・・・・2
- 大代地区慰霊祭のご案内・・・・・・・・・・・・・3
- 気仙沼の復興状況を
研修してきました・・・・・・・・・・・・・2
- 仙台港多賀城地区
緩衝緑地内架空送電線張替工事・・・・・・・・・・・・・4



7月20日、親子で作る「オリジナルミニ畳づくり教室」を行いました。



山茶花大学 7/10

3回目は小幡忠義先生による「ひとしでらくらく健康」体操でした

子どもコマ大戦

大代地区公民館場所

7月13日（土）に、大代地区公民館会議室で、「子どもコマ大戦」を開催しました。講師は岩沼精工の方にお越しいただきました。

この講座は、昨年度から開催していましたが、今年度は多賀城の3つの公民館（中央・山王・大代）で実施し、多賀城チャンピオンを決めることとしています。大代は山王地区公民館に続き実施し、21人の子ども達が参加しました。



講座はまず、2組交互に金属について学ぶグループと、専用の機械を使ってコマを作るグループとに分かれました。特に、コマを作るには、人の力だけでは無理で、機械を使うことによって作れるということ

を学びました。金属について学ぶグループは、形や大きさが同じでも、種類によって重さが違うという事や、様々なものに使われているということを実際に触ってみながら体験してみました。



金属について学び、自作のコマを作成した後、トーナメントによる対戦を行いました。



白熱した戦いが繰り広げられ、勝ちあがった子は次の戦いに進み、惜しくも負けた子は、コマをどれだけ長く回せるかのタイムトライアルを行いました。

気仙沼の復興状況を研修してきました

大代地区防災協 会長 米澤まき子

7月18日（木）、大代地区の方々27人が参加して東日本大震災で被災した気仙沼地区を研修してまいりました。研修した箇所は、伝承館（旧気仙沼向洋高校）、中心街の海岸付近、それに完成したばかりの大島大橋を渡って大島を見て参りました。伝承館と市街地の研修においては、語り部の方に同行していただき、当時の津波の様子や避難の様子、場所などについて詳しく話を聞くことができました。気仙沼地域の復興は、大分進んではおりますが、被害が甚大であったことから防潮堤の工事がまだ終わっていないところや工事中の道路、更地のままのところが見られ、街並みが元に戻るには、まだまだ期間がかかる印象を受けました。大島の様子も見えてきましたが、立派な橋は完成したものの、橋に至る道路の整備は、今も盛んに行われており、スムーズな島巡りをするには、もう少し

し期間がかかるような気がいたします。

今回の研修に参加した方々の中から、感想をいただいておりますので、ご紹介いたします。

○南区 九矢 裕子さんより

東日本大震災以来、初めて訪れた気仙沼、大型ダンプカーが盛んに行き交う復興工事を目の当たりにし、改めて愕然としました。大自然の驚異の前に、人間一人のできることは・・・。ただただ高台へと逃げるのみの事実。気仙沼の方々の観念は、「海と生きる」です。海を敵視せず、積極的に係わって暮らすこと。その考え方が運命、そして生死観となっており、それが次世代への希望へと繋がっていることに深く感銘を受けました。

○南区 渡邊 清さんより

伝承館及び津波で被災した地区を案内していただいた語り部さんの明解な説明に耳目を傾けて研修しましたが、今更ながら、大災害であったことを再認識した次第です。大震災から早8年が過ぎ、震災の爪痕も防潮堤の完成や街並みの復興により、災害の恐ろしさが薄れてきている感じがします。今各地に災害伝承館や災害遺構施設がありますので、これからは若い世代の

方々にも施設を見学していただき、津波災害の恐ろしさを永く伝承していただきたいと思います。

その他の方々にも感想をお聞きしましたが、滅多に来ることもできないし、また語り部がついての研修は、報道された以外にも多くのことを語ってくれましたので、とても有意義であったと感想を述べてくれました。

参加された皆さん大変お疲れ様でした。今回の研修は、私たちにとても大変身近な事例として、捉えることができたものと思っております。

今後とも皆様に関心を持っていただける事業を計画してまいりますので、積極的にご参加くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。



(旧気仙沼高校屋上(上)と3階(下))

大代地区「慰霊祭」のご案内

大代五区区长会

大代地区の伝統行事「慰霊祭」を左記のとおり開催いたします。

この行事は、水難物故者のご供養、そして大代地域皆様の平安な生活を祈念し行うものです。

皆様のご焼香を心よりお待ちしております。

ご先祖様のご供養と、納涼にご家族お揃いでご来場賜りますようご案内申し上げます。

記

1 日 時 令和元年8月20日(火)

午後6時開会

(雨天の場合は翌日21日(水)に順延)

2 場 所 大代橋本橋 西側特設会場

○ 開会セレモニー 午後6時30分

○ 慰霊祭 西園寺住職による納経

○ 灯籠点火

○ 奉納舞踊 暁流 仙台南支部

○ 花火打ち上げ(おもちゃ花火)

○ 夜店もあります。

○ 終了予定 午後8時30分

仙台港多賀城地区緩衝緑地内架空送電線
(※154kV代ヶ崎線)張替工事

【8月報告】

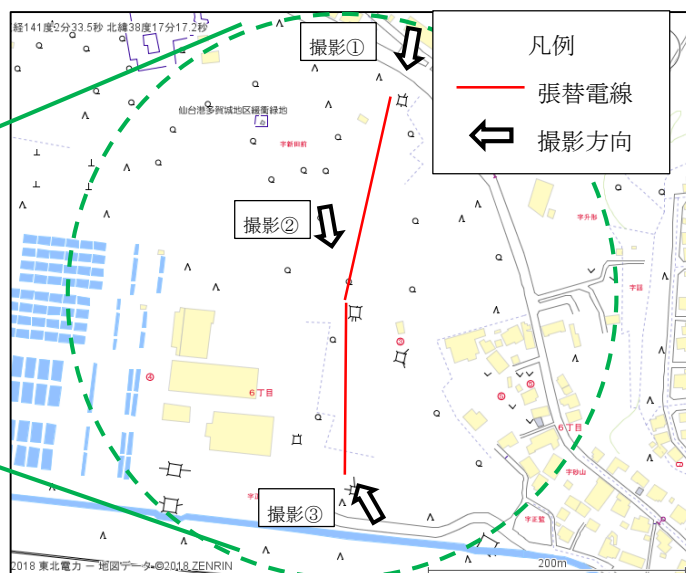
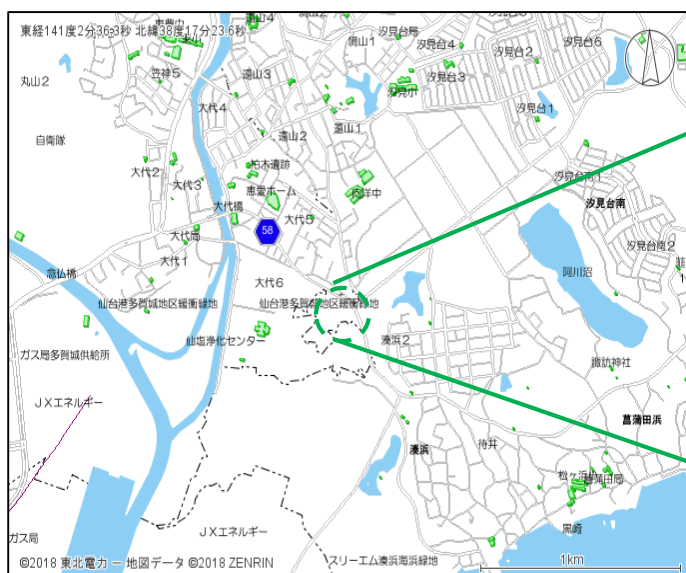
東北電力(株) 送配電カンパニー宮城支社
仙台電力センター 送電課

大代地区内の皆様には、日頃より大変お世話になっております。さて、大代地区内にございます仙台港多賀城地区緩衝緑地内につきましては、弊社架空送電線(※154kV代ヶ崎線)が通過いたしております。当該線路は、運転開始から60年以上経過していることから電力の安定供給と設備保全を目的として、電線・架空地線の張替工事の実施を予定いたしております。

工事箇所としては、仙台港多賀城緩衝緑地内の3基の鉄塔を経過している計6条の電線・1条の架空地線(電線を雷から保護する線)となっております。また、付帯工事としては、既に、今年7月22日から着工いたしております。さらに、関連伐採工事および関連植栽工事としては、翌年2月着工を予定しております。

本張替工事の工事期間(予定)につきましては、付帯工事を含めると令和元年7月22日から令和2年3月31日までとなっております。そのため、その工事期間中、大代地区の住民の皆様および運動公園の利用者の皆様には、ご不便をおかけいたしますが、安全第一にて工事を進めて参りますので、何卒、ご理解、ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

【工事場所】



【工事箇所写真】



張替開始鉄塔



中間鉄塔



張替終了鉄塔